

3

情報の受信者として

(教科書p.6~7)

1 次の文の(1)~(4)の空欄にあてはまる適切な語句を、後の語群から選んで書きなさい。

情報にもとづいて(1)をおこなうとき、情報が間違っているとそこから導かれる(2)も間違っただものになってしまう。間違っただ情報は(3)なもので、情報の(4)にはじゅうぶんに注意する必要がある。

【語群】 結論 安心 意思決定 危険 注意 正しさ

(1)	(2)
(3)	(4)

2 次の文の(1)~(4)の空欄にあてはまる適切な語句を、後の語群から選んで書きなさい。

(1)をつくことで、相手に誤解を与え、間違っただ判断や決定をおこなわせてしまう。マスメディアによる(2)も同じことであり、個人の(1)より影響が大きい。

自分が聞いた(3)を信じて他人に伝えている人には相手をだまそうとする意志がなくても、それを聞いた人が間違っただ判断をしてしまうことになる。私たちは受け取っただ情報の(4)に注意し、正しい情報を伝えることをこころがける必要がある。

【語群】 捏造 うわさ 誤解 信憑性 うそ 情報性

(1)	(2)
(3)	(4)

3 次の文の(1)~(4)の空欄にあてはまる適切な語句を、後の語群から選んで書きなさい。

表現のしかたにより、同じ内容でも情報の(1)がもつ印象は違ってくる。説明する順番の違いでも、与える印象を操作が可能である。情報の(2)は、なんらかの意図をもって発信している。(2)の意図を適切に理解する能力を(3)とよぶ。これからの社会でよりよく生きていくためには、情報を(4)にせず、意識的に情報と向きあっている。

【語群】 鵜呑み 通信メディア 発信者 受信者 誤解者
メディアリテラシー

(1)	(2)
(3)	(4)

メモ

正しい情報であるか、もう一度、別の方面から確認する必要もある。

▼ヒント

うわさは、伝達されるごとに誇張されていく。正しい情報であるか、冷静に考え判断する必要がある。

メモ

多くの情報があるので、自分が必要としている情報であるか、判断できる目と選択する能力が必要である。

4

情報の発信者として

(教科書p.8~9)

1 次の文の(1)~(4)の空欄にあてはまる適切な語句を、後の語群から選んで書きなさい。

情報発信において、情報受信者がどう受け止めるかを(1)が直接コントロールすることはできない。(1)の意図と違っただ受け取られ方をされ、人のところを傷つけたり、大きな(2)を発生させたりすることもある。他人の(3)を漏洩させた場合も、どこまで拡散するかコントロールできない。情報通信ネットワーク上では、社会人や高校生であろうと(1)としては(4)の立場と影響力をもっている。

【語群】 プライバシー 情報発信者 無視 同等 トラブル

(1)	(2)
(3)	(4)

2 次の文の(1)~(4)の空欄にあてはまる適切な語句を、後の語群から選んで書きなさい。

ケンカした腹いせにブログで相手の悪口を書きこんだ場合、その人を傷つけた(1)となり(2)で訴えられることもある。裁判によって、相手に与えた(3)などに対する(4)を支払わなければならないこともある。

【語群】 精神的苦痛 犯罪 損害賠償 加害者 名誉毀損

(1)	(2)
(3)	(4)

3 次の文の(1)~(4)の空欄にあてはまる適切な語句を、後の語群から選んで書きなさい。

テレビ番組を録画して動画投稿サイトに公開した場合、番組に関する(1)を侵害したことになる。アルバイト先の飲食店で店の食材を使ってふざけている写真を(2)に投稿したことで、店の悪いうわさがたつて客が減少したら、(3)になってしまう。このように経済的な被害を与えた場合は(4)に罰せられ、多額の損害賠償を求められることになる。

【語群】 SNS 営業妨害 情報モラル 会社や個人の権利 法的

(1)	(2)
(3)	(4)

▼ヒント

いったん発信した情報は、取り消すことが難しい。

メモ

相手のことを考えて、情報を発信するようにしよう。

メモ

安易な考えで情報を発信してしまうと、他の人の権利を侵害したり、経済的損害を与える場合があるので、法律的なことも学んでおこう。